

2012年度第3四半期 決算説明会

2013年2月14日

新日鐵住金株式会社

常務取締役
太田 克彦

1. 2012年度下期決算見通し

2. ご参考

1. 2012年度下期決算見通し

2012年度下期決算見通しの概況

需給環境 (12年度下期)

- 造船・自動車分野等の製造業向け鋼材需要減：対上期▲3%程度の減少
- 緊急経済対策や円安の影響は、2013年度の内需を底上げ。
- 国際市況は緩やかに上昇基調。当社出荷ベースへの影響は来期以降に期待。

当社の取組み

- 国内製造業向けの減を輸出でカバー(上期→下期見通し: 出荷-30万トﾝ減)。
- 従来のコスト改善は、計画通り、下期300億円(年率1,300億円)を達成見通し。
- 統合効果/下期100億円も実現の見通し。引き続き、統合効果の早期実現・上積みに向けて取組み中。

決算概況

- 下期経常損益400億円(対前回 [昨年11/9発表]収益目標水準+100億円、対上期+100億円)の見通し
- 下期当期利益350億円の見通し。剰余金の期末配当方針：1円/株

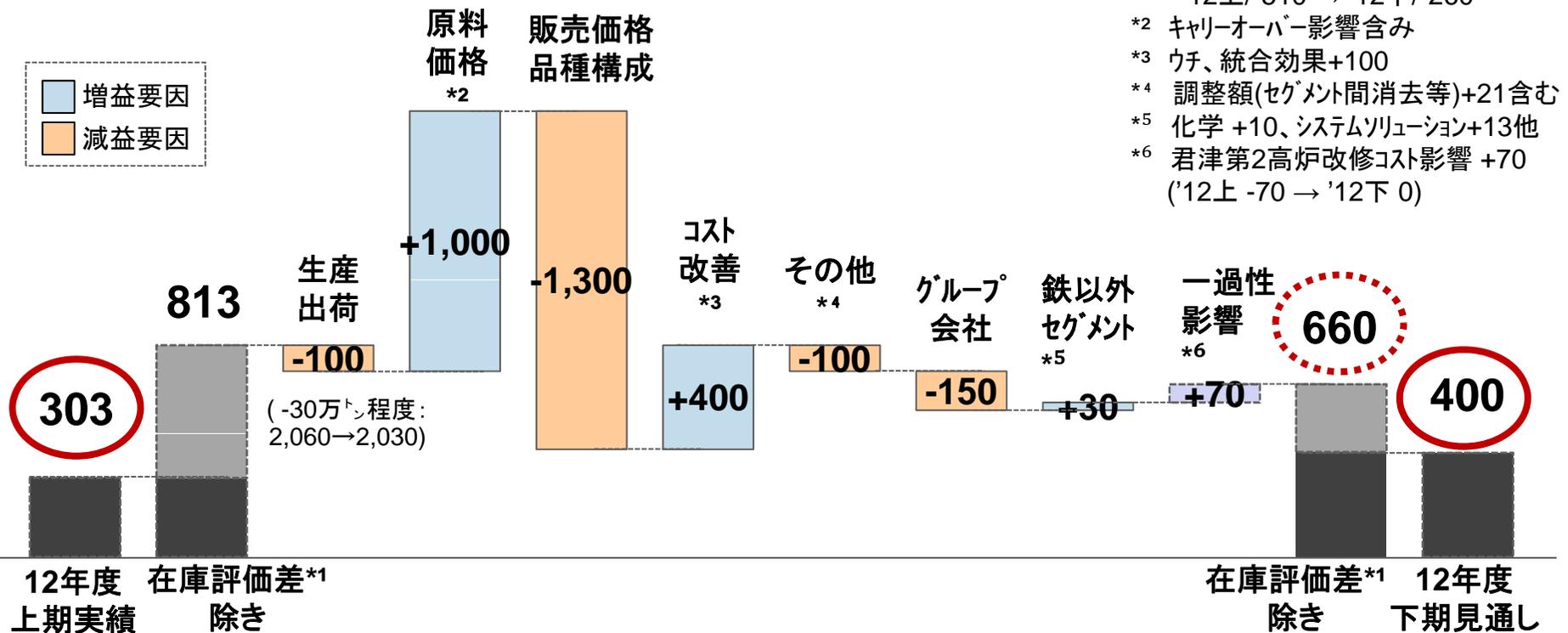
2012年度決算見通し

(単位:億円)	新日鐵住金								差異	
	新日鐵 [A]	住金 [B]	FY12 上期 実績 [C (A+B)]	3Q	4Q 見通し	FY12 下期 見通し [D]	年度 見通し [C+D]	年度 見通し (存続会社 ベース)	上期 (合算) → 下期 見通し	%
売上高	19,182	6,936	26,118	11,544	12,456	24,000	50,000	43,000	-2,118	-8%
経常損益	195	108	303	125	275	400	700	600	+97	+32%
製鉄	54	94	148	37	163	200	350	250	+52	+35%
鉄以外セグメント	176	-	176	123	79	200	375	375	+24	+14%
調整額	-35	14	-21	-35	35	0	-25	-25	+21	-
当期損益	-1,766	-1,338	-3,104	247	103	350		-1,400		
(一株当り当期利益)	(-28.1)	(-29.3)		(2.7)	(1.1)	(3.9)				
有利子負債残高	13,821	12,639	26,460	25,964						
D/E レシオ	0.85	2.53		1.20						

連結経常損益分析(12/上期(旧両社単純合算)→12/下期見通し)

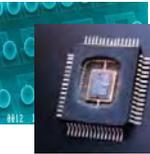
(単位:億円)	上期実績 (単純合算) [A]	下期見通し [B]	増減 [A→B]
経常損益	303	400	+97
製鉄	148	200	+52
鉄以外セグメント	176	200	+24
調整額	-21	0	+21

前回(11/9発表)収益目標水準との差異
 下期経常損益 +100 (300程度→400)
 ○ 円安による外貨ネット資産の換算益



- *1 在庫評価差
'12上/-510 → '12下/-260
- *2 キャリーオーバー影響含み
- *3 ウチ、統合効果+100
- *4 調整額(セグメント間消去等)+21含む
- *5 化学 +10、システムソリューション+13他
- *6 君津第2高炉改修コスト影響 +70 ('12上 -70 → '12下 0)

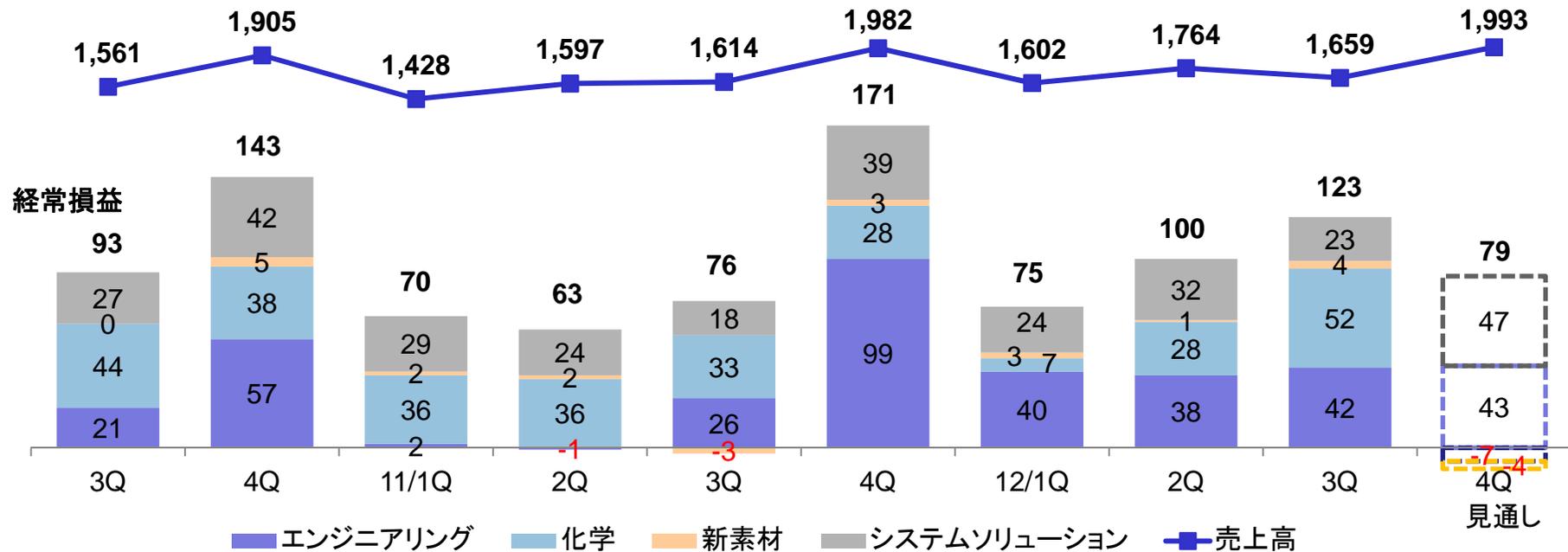
製鉄以外セグメント概況(12年度見通し)

12年度見通し (対前年同期)		売上高	経常損益	概況
	エンジニアリング 製鉄プラント、環境ソリューション、海洋、エネルギー、建築	3,000 (+511)	165 (+38)	実行中のプロジェクトでの万全なリスク管理とコスト改善に注力した結果、対前年増収増益の見通し。
	化学 コールドケミカル、化学品、機能材料	1,850 (-126)	80 (-55)	円安による輸出採算の改善・ベンゼン市況上昇によるマージン回復はあるものの、コールドケミカル・機能材料の販売数量の伸び悩みや大規模修繕の影響もあり、減収減益の見通し。
	新素材 半導体・電子産業部材、産業基礎部材、エネルギー・環境部材	400 (-142)	5 (-1)	売上高の減少は、金ワイヤの銅化の影響。経常損益は、世界景気の低迷、円高等の影響を受けるも、前年並みの見通し。
	システムソリューション 業務ソリューション、基盤ソリューション、ビジネスサービス	1,700 (+85)	125 (+13)	業務ソリューション(産業・流通、公共分野)、ビジネスサービス(鉄鋼・テレコム分野)を中心に、前年に対し増収増益の見通し。
製鉄以外セグメント		6,950 (+326)	375 (-6)	

(ご参考) 製鉄以外セグメント別経常利益 四半期別推移

(単位:億円)	10/3Q	4Q	11/1Q	2Q	3Q	4Q	12/1Q	2Q	3Q	4Q見
エンジニアリング	21	57	2	-1	26	99	40	38	42	43
化学	44	38	36	36	33	28	7	28	52	-7
新素材	0	5	2	2	-3	3	3	1	4	-4
システムソリューション	27	42	29	24	18	39	24	32	23	47
製鉄以外セグメント計	93	143	70	63	76	171	75	100	123	79

売上高(4セグメント計)

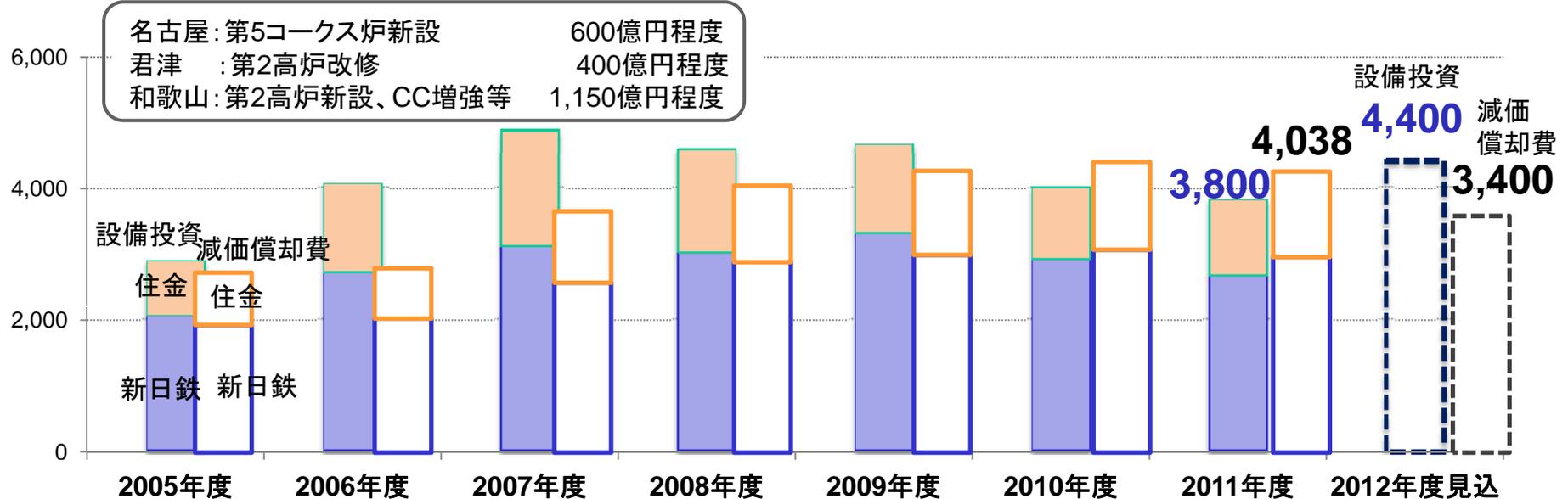


設備投資・減価償却費

(単位：億円、連結ベース)

新日鐵住金 (上段:新日鉄 下段:住金)	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度 見 通 し
設備投資額 <工事ベース>	2,850 (2,050) (826)	4,050 (2,700) (1,358)	4,900 (3,100) (1,788)	4,600 (3,000) (1,591)	4,650 (3,300) (1,366)	4,000 (2,900) (1,099)	3,800 (2,650) (1,157)	4,400
減価償却費	2,585 (1,833) (752)	2,647 (1,925) (722)	3,465 (2,440) (1,025)	3,835 (2,737) (1,098)	4,048 (2,840) (1,208)	4,177 (2,915) (1,262)	4,038 (2,809) (1,229)	3,400

2012年度の主な新規設備投資案件



※ 設備投資額：2005～2011年度の新日鐵住金は、旧新日鉄と旧住金の合算値を50億円単位で丸めて合算

剰余金の期末配当方針について

当期末の剰余金の配当につきましては、統合新会社発足後の下期の業績見通し(連結当期純利益350億円程度)及び先行きの経営環境等を勘案し、1株につき1円(下期連結配当性向25%程度)とさせていただく方針と致しました。

< 利益配分に関する基本方針 >

当社は、業績に応じた利益の配分を基本として、企業価値向上に向けた投資等に必要な資金所要、先行きの業績見通し、連結及び単独の財務体質等を勘案しつつ、第2四半期末及び期末の剰余金の配当を実施する方針と致しております。

「業績に応じた利益の配分」の指標としては、連結配当性向年間20%程度を基準としております。

2012年度第3四半期決算実績

2012年度第3四半期決算実績

(単位:億円)	新日鉄 [A]		住金 [B]		新日鐵住金 [A+B]		新日鐵 住金	増減 [C→D]	
	2Q	FY12 上期	2Q	FY12 上期	2Q [C]	FY12 上期	3Q [D]	2Q (単純合算) → 3Q	%
	売上高	9,576	19,182	3,517	6,936	13,092	26,118	11,544	-1,548
営業損益	36	-26	269	157	305	131	-33	-338	-
経常損益	102	195	218	108	321	303	125	-196	-61%
製鉄	-11	54	210	94	199	148	37	-162	-81%
鉄以外セグメント	100	176	-	-	100	176	123	+23	+23%
調整額 ^{*1}	13	-35	8	14	21	-21	-35	-56	-
特別損益	-1,616	-2,579	-1,301	-1,456	-2,917	-4,035	289	+3,206	-
当期損益	-891	-1,766	-1,138	-1,338	-2,029	-3,104	247	+2,276	-
(一株当り当期利益)	(-14.2)	(-28.1)	(-25.4)	(-29.3)			(2.7)		
有利子負債残高	13,821		12,639		26,460		25,964		
D/E レシオ	0.85		2.53				1.20		

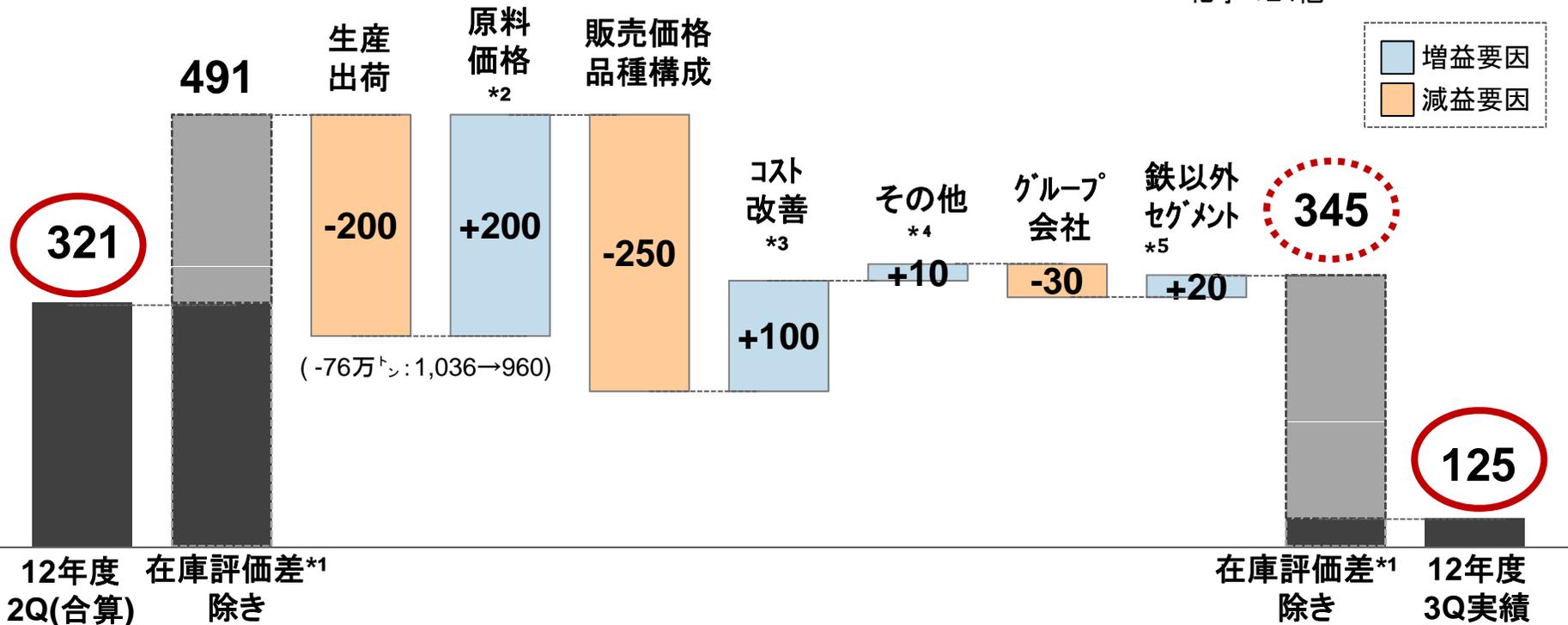
ウチ、
 投資有価証券評価損 246
 (株式市場回復に伴う
 投資有価証券評価戻り益)

*1 「都市開発」及び(株)SUMCOの持分法損益は「調整額」の中に含めて整理

連結経常損益分析(12/2Q(旧両社単純合算)→12/3Q)

(単位:億円)	2Q実績 (単純合算) [A]	3Q実績 [B]	増減 [A→B]
経常損益	321	125	-196
製鉄	199	37	-162
鉄以外セグメント	100	123	+23
調整額	21	-35	-56

- *1 在庫評価差
2Q/-170 → 3Q/-220
- *2 キャリーオーバー影響含み
- *3 ウチ、統合効果+20
- *4 調整額(セグメント間消去等)-56含む
- *5 化学 +24他



合併処理について

- ・昨年10/1の経営統合により、合併のれん340億円(正ののれん)が発生。
- ・償却負担-34億円/年程度 (10年償却)

(単位:億円)

2012/9E 住金自己資本(簿価)		5,001
自己株式(戻し)		192
住金保有のれん		-135
資産負債時価評価		-323
住金時価純資産	A	4,735
取得対価 (新日鉄交付株式時価+諸費用)	B	5,076
(正の)のれん	B-A	340
うち、住金保有のれん		135

・・・退職給付引当金他

- ・・・ ①新日鉄交付株式時価 5,057億円
(交付株式32億株 × 158円/株)
②諸費用 20億円

連結貸借対照表 (2012/3月末→2012/12月末)

2012年12月末BS : 総資産68,151億円、D/E 1.20

(単位:億円)	2011FY			2012FY				増減	
	NSC	SMI	3E	NSC	SMI	9E	12E	3E→12E	%

【資産の部】

流動資産	17,035	6,580	23,615	16,239	6,118	22,357	20,943	-2,672	-11%
固定資産	32,212	17,280	49,492	30,525	16,071	46,596	47,208	-2,284	-5%
資産計	49,247	23,861	73,108	46,764	22,189	68,953	68,151	-4,957	-7%

【負債及び純資産の部】

流動負債	13,362	6,910	20,272	13,086	7,147	20,233	19,077	-1,195	-6%
固定負債	12,411	9,336	21,747	12,286	9,514	21,800	22,110	+363	+2%
負債計	25,773	16,246	42,020	25,373	16,662	42,035	41,187	-833	-2%
純資産	23,473	7,614	31,088	21,391	5,527	26,918	26,963	-4,125	-13%
自己資本	18,289	7,093		16,318	5,001		21,648		

有利子負債残高	13,345	11,721 ^{*1}	25,066	13,821	12,639	26,460	25,964	+898	+4%
D/Eレシオ	0.73	1.65		0.85	2.53		1.20		

*1 住金の2012年3月末は借入残高を記載。

トピックス

鋼材需要に影響を与える外的変動要因

■ 緊急経済対策・補正予算

- ・ 鋼材消費規模 50~65万トン+α程度 (出所: 日本鉄鋼連盟)
- ・ 但し、人手不足や設計遅れ等による工事遅れ、それに伴う鋼材需要の時期ズレのリスク有

■ 震災復旧・復興関連補正予算

- ・ 12年度当初予算までの復興関連公共事業関係費から推計される所要鋼材量 [公共事業]
: 83万トン程度(公共土木65万トン+仮設住宅・その他建築関連18万トン)
- ・ 民間部門想定鋼材需要量 : 100万トン程度(住宅約50万トン+非住宅約40万トン+土木約10万トン)
(出所: 日本鉄鋼連盟)

■ 円安

- ・ 10%の円安により、1年間で実質GDP+0.2%程度の押し上げ (出所: 内閣府)

■ 消費税増税

主要な海外事業投資の進捗

		:%: NSSMC出資比率	投資額	主要設備	製造能力	FY12	FY13	FY14	FY15
事業投資	自動車用鋼板	 TENIGAL (メキシコ) 49%	約300百万\$	CGL	40万 トン/年		★ CY13		
		 TATA とのJV (インド) 49%	約400億円	CAPL	60万 トン/年		★ FY13		
		 NSGT (タイ) 100%	約300百万\$	CGL	36万 トン/年		★ '13/10		
	建材薄板	NSBS (BlueScopeとのJV) (シンガポール他) 50%	554百万\$ (グループ総額)	CGL等	140万 トン/年-CGL	★	~'13/3E JV設立		
		 CSVC (ベトナム) 30%	1,150億円 (JV合計額)	CDCM	120万 トン/年	★	FY12		
	ブリキ	 WINSteel (中国) 50%	約230億円	ブリキライン等	40万 トン/年		★ '13/9~12 順次稼働		
	鋼管	 NS Pipe Mexico (メキシコ) 55%	約39百万\$	電縫鋼管 造管等	2.4万 トン/年		★ '13/6		
		 VSB (ブラジル) 40%	5.4bnBRL (VSB資本金)	シームレス パイプ等	60万 トン/年-SML		立ち上げ中		
		 Southern Tube (米国) (OCTG加工) 100%	43百万\$	油井管 熱処理等	7万 トン/年				★ FY15本格商業生産

※ 尚、インドネシアにおいて、自動車用鋼板製造・販売事業の実施検討を開始

グループ会社の事業統合

統合再編によるシナジー効果の早期発揮に努めていきます。

	リリース日	発足(予定)日
■ 厚板溶断加工事業の統合 (株)日鐵神鋼シャーリングと(株)シーヤリング工場の合併	(2013/01/18)	2013/04/01
■ 高張力ボルト事業の統合 日鐵住金精圧品(株)と(株)NSボルテンのハイテンションボルト事業統合 → 「日鐵住金ボルテン(株)」発足	(2012/11/29)	2013/01/04
■ 試験分析子会社の統合 (株)日鐵テクノリサーチ(子会社5社含む)と住友金属テクノロジー(株)との統合 → 「日鐵住金テクノロジー(株)」発足	(2012/10/03)	2013/04/01
■ タイにおける棒線二次加工事業会社の統合 Steel Processing(Thailand) Co., Ltd.とNippon Steel Bar & CH Wire(Thailand) Co., Ltd.	(2012/10/02)	2013/01
■ 太平工業(株)と(株)日鐵エレックスの合併 「日鐵住金テックスエンジ(株)」発足	(2012/09/28)	2013/10/01
■ 物流子会社の統合 日鐵物流(株)と住友金属物流(株)の事業統合再編 → 「日鐵住金物流(株)」発足	(2012/09/05)	2013/04/01
■ パイプライン子会社の統合 日鐵パイプライン(株)と住友金属パイプエンジ(株) → 「日鐵住金パイプライン&エンジニアリング(株)」発足	(2012/06/26)	2012/10/01

※ 尚、住金物産(株)と日鐵商事(株)は、2013年10月1日を目途に経営統合するべく検討することについて合意(2013年2月7日リリース)

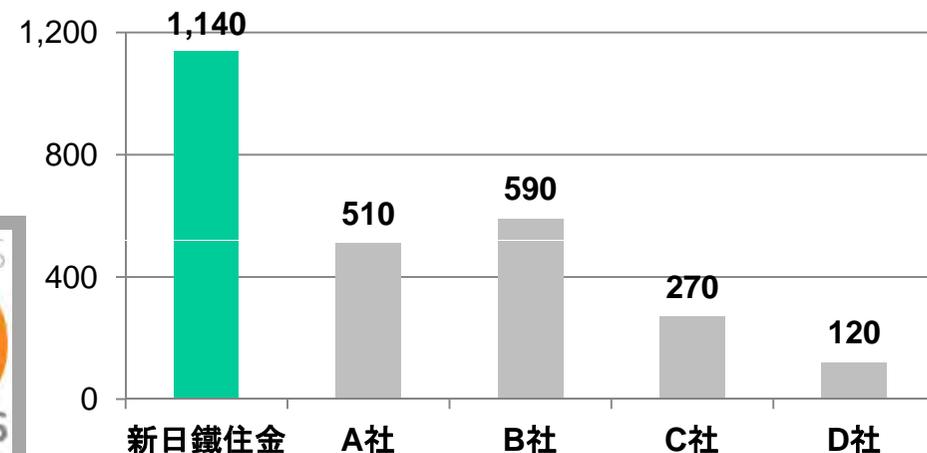
「TOP100グローバル・イノベーター2012」受賞

- ・ トムソン・ロイター社が世界で最も革新的な企業や研究機関を選出する『TOP100 グローバル・イノベーター2012』の1社に選出。
- ・ 世界トップ100社のうち日本企業25社、鉄鋼含む金属精錬業界からは世界で当社1社のみが受賞。
- ・ 今後も積極的な研究開発を推進し、知的財産の保護・活用を進め、当社のグローバル事業展開を強力にサポートしていきます。



(参考) 国際特許公開件数の他社比較：2008～2012年5年分

(出所: 当社調べ)



2. ご参考

1) 主要参考情報

主要需要分野の活動水準推移

		2011年度					2012年度					差異	
		上期	3Q	4Q	下期	年度	上期	3Q	4Q 見通し	下期 見通し	年度 見通し	12上 → 12下	11FY → 12FY
建設	住宅着工戸数 (万戸)	43	21	20	41	84	44	24	20	44	88	~	+4
	非住宅着工 (万㎡)	2,495	1,151	1,107	2,258	4,752	2,593	1,319	1,085	2,404	4,996	-189	+244
	公共工事受注*1 (10億円)	2,555	1,623	2,028	3,651	6,206	3,020	1,710	2,208	3,918	6,937	+898	+732
自動車	完成車生産台数 (万台)	390	259	277	536	927	491	226	239	465	956	-25	+29
	完成車輸出台数 (万台)	198	137	127	264	462	237	117	116	233	469	-4	+7
	海外生産(8社) (万台)	604	333	398	731	1,335	763	366					
産業機械	大中型ショベル (千台)	33	23	22	44	78	38	18	18	35	74	-3	-4
	金属工作機械 (千ト)	222	114	118	232	454	214	93	91	184	398	-30	-56
造船	新造船起工 (当社推定) (万グロスト)	876	428	411	839	1,715	705	330	315	645	1,350	-60	-365

リグカウントの状況	07年平均	08年平均	09年平均	10年平均	11年平均	12年平均	直近
米国	1,768	1,879	1,089	1,546	1,875	1,919	1,759 (13/2/8)
深井戸(≧15,000ft)	222	283	249	249	395	324	324 (12/12)
北米・露・中を除く世界	1,005	1,079	997	1,094	1,167	1,234	1,279 (13/1)

(出所:各種統計資料・当社推定) *1 建設工事受注動態統計の公共工事受注額

© 2013 NIPPON STEEL & SUMITOMO METAL CORPORATION All Rights Reserved.

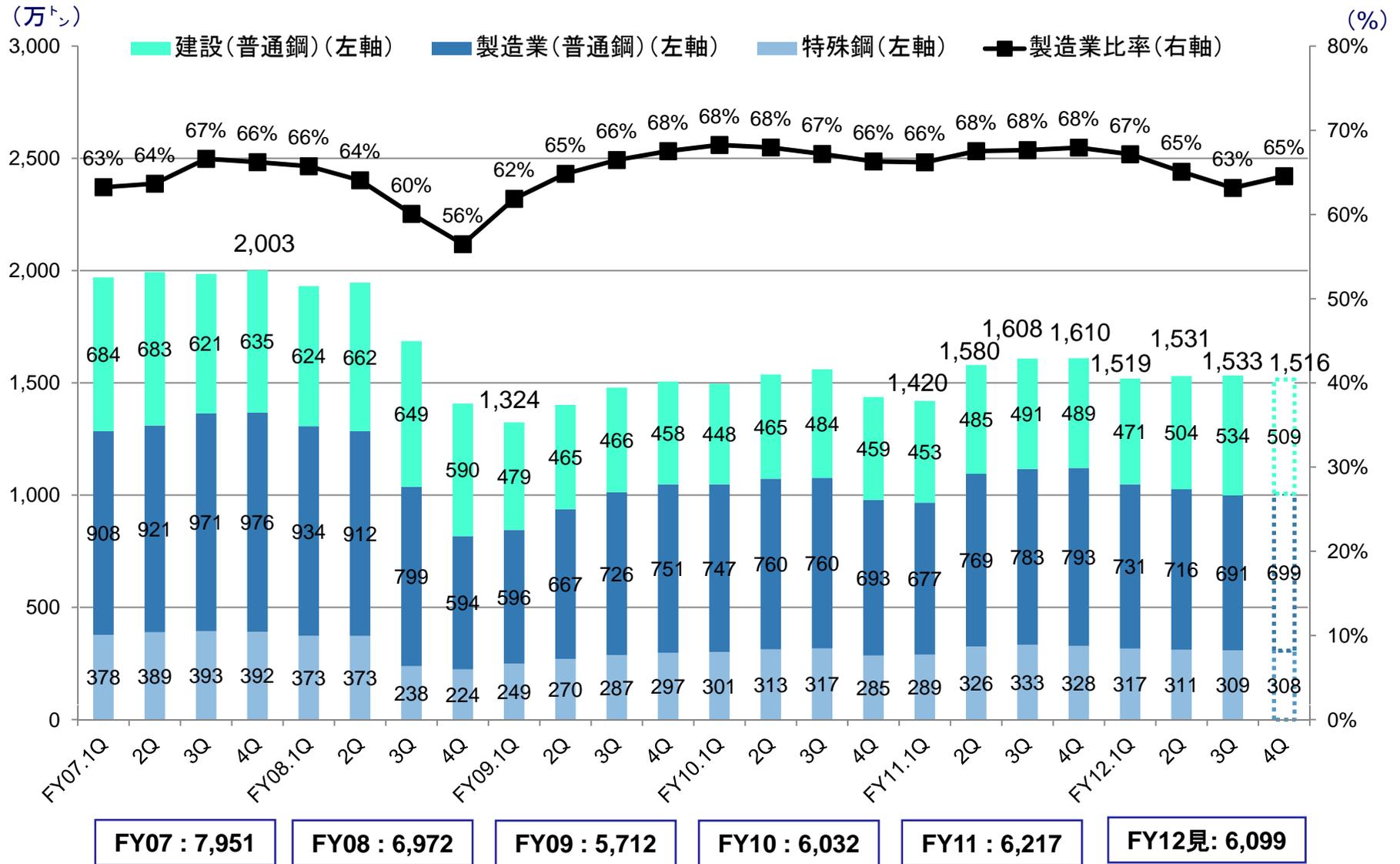
主要需要分野の鋼材消費推移

(単位:万ト)	2011年度					2012年度					差異		
	上期	3Q	4Q	下期	年度	上期	3Q	4Q 見通し	下期 見通し	年度 見通し	12上 → 12下見	11FY → 12FY見	
全国粗鋼生産量	5,332	2,658	2,657	5,315	10,646	5,476	2,591	2,611	5,202	10,678	-5%	-274	+32
国内鋼材消費	2,999	1,608	1,610	3,218	6,217	3,050	1,533	1,516	3,049	6,099	-0%	-2	-118
製造業比率 (%)	66.9	67.6	67.9	67.8	67.4	66.1	63.2	64.6	63.9	65.0	-2.3	-2.4	
普通鋼鋼材消費	2,385	1,275	1,282	2,557	4,941	2,423	1,224	1,208	2,432	4,855	+0%	+10	-86
建設	938	491	489	980	1,918	976	534	509	1,043	2,019	+7%	+67	+101
製造業	1,446	783	793	1,577	3,023	1,447	691	699	1,390	2,836	-4%	-57	-187
ウチ、造船	285	138	133	271	556	227	106	99	205	432		-22	-124
ウチ、自動車	507	302	322	624	1,131	577	271	283	554	1,132		-23	+1
ウチ、産業機械	247	133	127	260	506	243	117	116	233	476		-10	-30
ウチ、電機機械	159	78	80	158	318	154	69	75	144	298		-10	-20
特殊鋼鋼材消費	615	333	328	661	1,276	627	309	308	616	1,243	-2%	-11	-33
鋼材輸入	290	180	154	334	624	295	165						
鋼材輸出	1,876	840	930	1,770	3,646	1,992	941						

(出所:各種統計資料・当社推定)

© 2013 NIPPON STEEL & SUMITOMO METAL CORPORATION All Rights Reserved.

国内鋼材消費推移



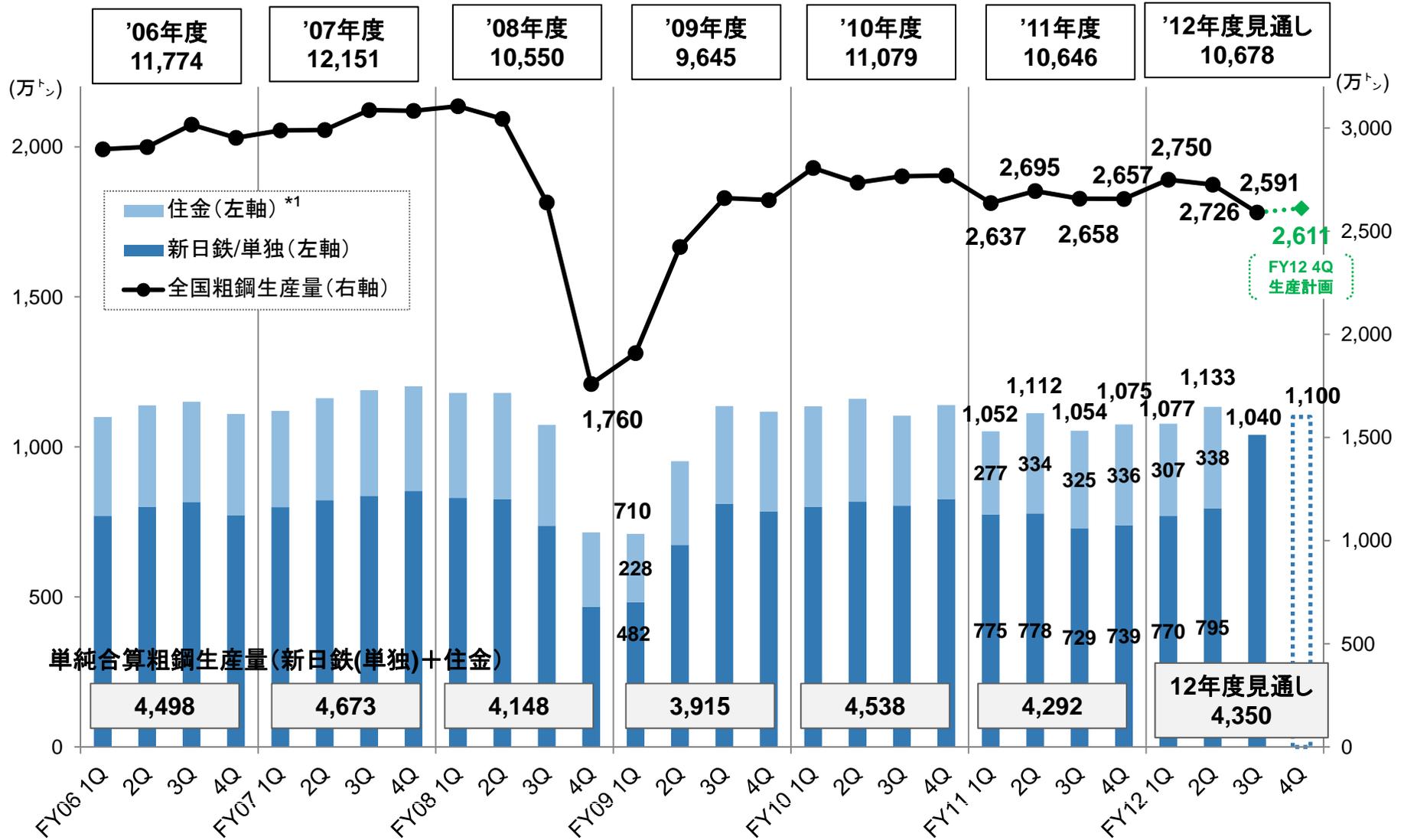
(出所:各種統計資料・当社推定)

© 2013 NIPPON STEEL & SUMITOMO METAL CORPORATION All Rights Reserved.

粗鋼生産量 四半期別推移

全国粗鋼生産量

(2013/2/4 FY12 4Q鉄鋼生産計画集計結果 経済産業省発表)



*1 住金の数値は、旧住金小倉・住金直江津・住金鋼鉄和歌山含み

製鉄事業諸元^{*1} ①

(単位:万ト)	2011年度					2012年度					差異	
	上期	3Q	4Q	下期		上期	3Q	4Q 見通し	下期 見通し	年度 見通し	12上 → 12下見	11FY → 12FY見
出銑量 ^{*2}	2,180	1,084	1,070	2,154	4,333	2,213	1,062	1,110	2,170	4,380	-43	+47
新日鉄	1,579	757	741	1,498	3,077	1,579						
住金	601	327	329	656	1,256	634						
粗鋼生産量(連結)	2,281	1,116	1,140	2,256	4,537	2,334	1,101	1,160	2,260	4,590	-74	+53
新日鉄	1,661	785	798	1,583	3,244	1,681						
住金	620	331	342	673	1,293	653						
粗鋼生産量(単独)	2,164	1,054	1,075	2,128	4,292	2,210	1,040	1,100	2,140	4,350	-70	+58
新日鉄	1,553	729	739	1,467	3,020	1,566						
住金	611	325	336	661	1,272	644						
鋼材出荷量	1,980	1,019	1,035	2,053	4,033	2,061	960	1,070	2,030	4,090	-31	+57
新日鉄	1,468	720	721	1,441	2,909	1,497						
住金	512	299	314	612	1,124	564						

(参考)

シームレス出荷量 ^{*3}	50	28	28	56	106	53	27	27	54	107	+1	+1
------------------------	----	----	----	----	-----	----	----	----	----	-----	----	----

*1 住金の数値は、旧住金小倉・住金直江津・住金鋼鉄和歌山含み

*2 新日鉄: 北海製鉄含み、住金: 旧住金鋼鉄和歌山含み

*3 旧新日鉄+旧住金分にて表記

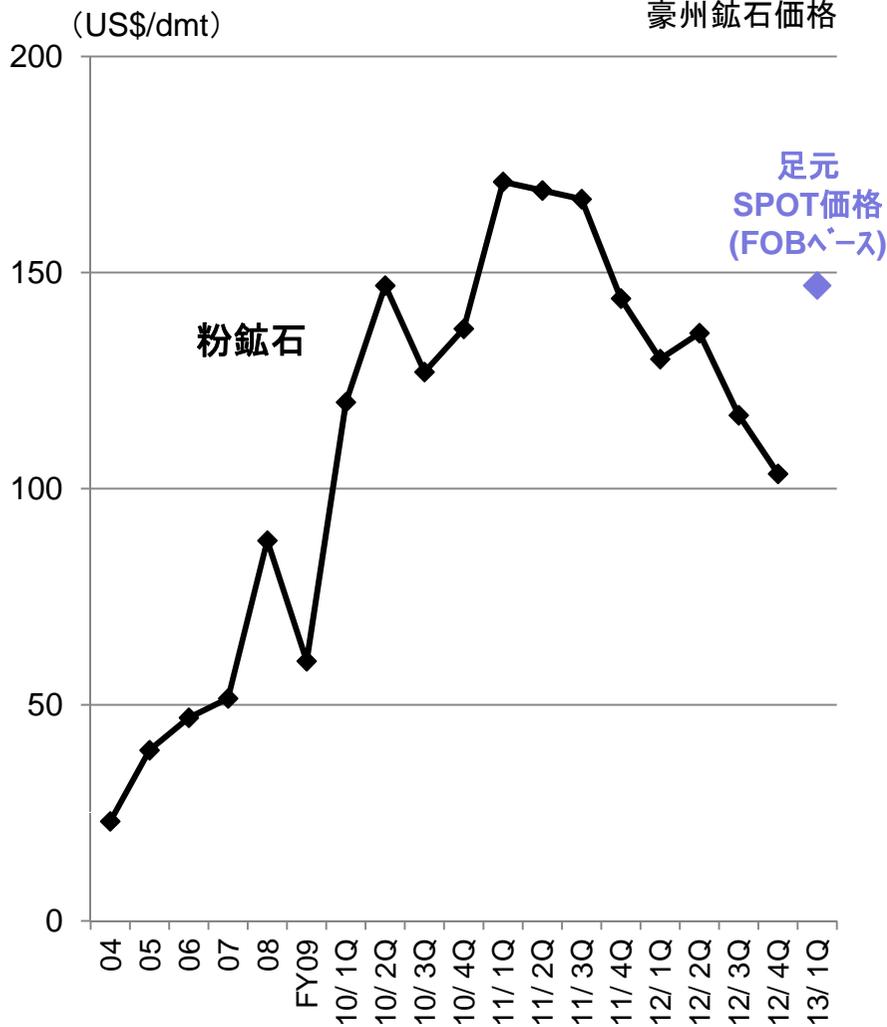
製鉄事業諸元^{*1}②

(単位:万ト)	2011年度			2012年度							差異	
	上期	下期		1Q	2Q	上期	3Q	4Q 見通し	下期 見通し	年度 見通し	12上 → 12下見	11FY → 12FY見
鋼材平均価格 (千円/ト)												
新日鐵住金	92.5	89.5	91.0	84.0	80.8	82.4	78.1	77	78	80	-4	-11
新日鐵	87.8	84.5	86.2	80.0	75.6	77.8						
住金	106.0	101.4	103.5	94.7	94.4	94.5						
鋼材輸出比率(金額ベース) (%)												
新日鐵住金	42	39	40	43	43	43	43	47	45	44	+1	+4
新日鐵	41	37	39	42	42	42						
住金	45	42	43	46	45	46						
為替レート (¥/\$)	80	78	79	81	79	80	80	90	85	82	5円安	3円安

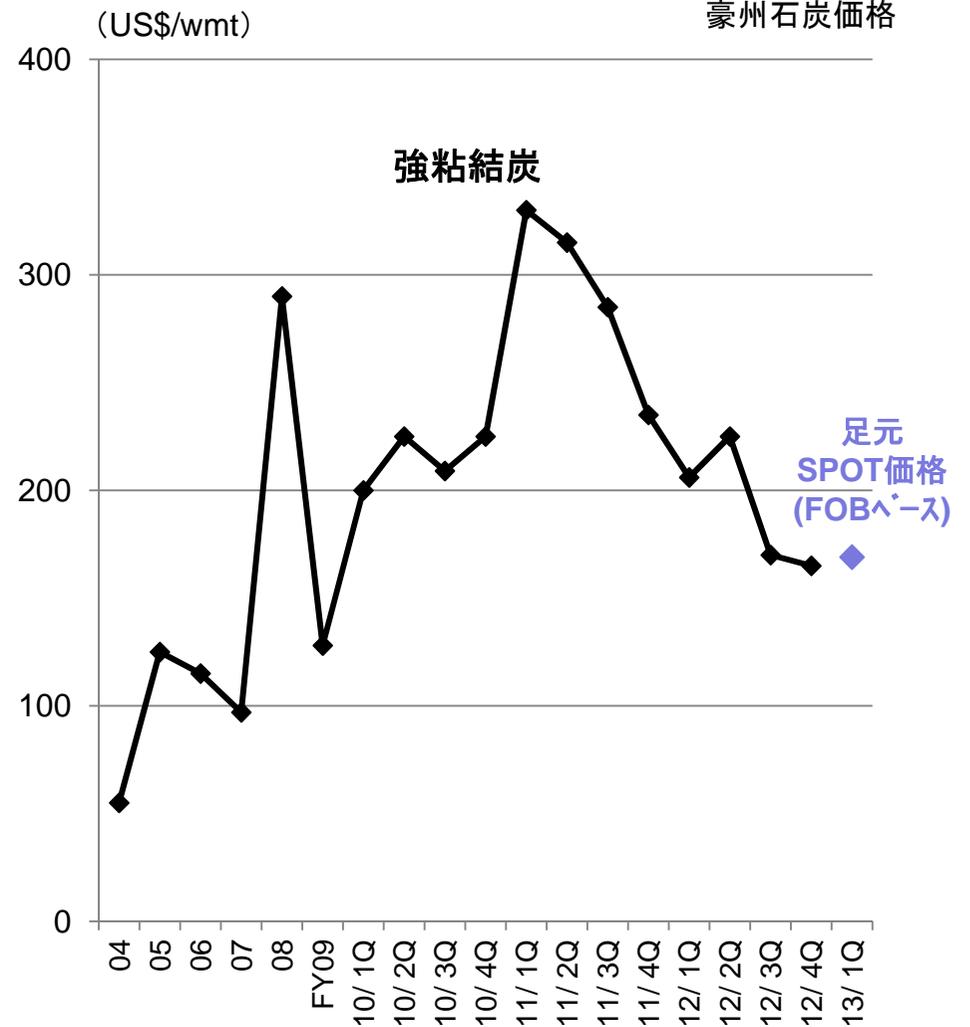
*1 住金の数値は、旧住金小倉・住金直江津・住金鋼鉄和歌山含み

鉄鉱石・原料炭の国際価格推移

鉄鉱石



原料炭



2) 世界及び国内の鉄鋼マーケット関連情報

世界の経済成長率推移

<2013年1月23日IMF改定値>

前回(2012.10.9)

	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013 見通し		2014 見通し	
世界合計	5.1	5.2	3.0	-0.5	5.3	3.9	3.2	(3.6)	3.5	(4.1)	4.1
先進諸国	3.0	2.7	0.5	-3.4	3.2	1.6	1.3	(1.5)	1.4	(2.3)	2.2
米国	2.8	2.1	0.4	-2.6	3.0	1.8	2.3	(2.1)	2.0	(2.9)	3.0
欧州	2.8	2.7	0.6	-4.1	1.9	1.4	-0.4	(0.2)	-0.2	(1.2)	1.0
日本	2.4	2.3	-1.2	-6.3	4.4	-0.6	2.0	(1.2)	1.2	(1.1)	0.7
新興諸国	7.9	8.3	6.1	2.7	7.5	6.3	5.1	(5.6)	5.5	(5.9)	5.9
中国	11.6	13.0	9.6	9.2	10.4	9.3	7.8	(8.2)	8.2	(8.5)	8.5
インド	9.8	9.4	7.3	6.8	10.6	7.9	4.5	(6.0)	5.9	(6.4)	6.4
ASEAN5*	5.7	6.3	4.7	1.7	7.0	4.5	5.7	(5.8)	5.5	(5.7)	5.7
ロシア	7.4	8.1	5.6	-7.8	4.3	4.3	3.6	(3.8)	3.7	(3.9)	3.8
ブラジル	3.8	5.7	5.1	-0.6	7.5	2.7	1.0	(4.0)	3.5	(4.2)	4.0

*ASEAN 5 : タイ、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ヴェトナム

(出所: IMF)

© 2013 NIPPON STEEL & SUMITOMO METAL CORPORATION All Rights Reserved.



新日鐵住金

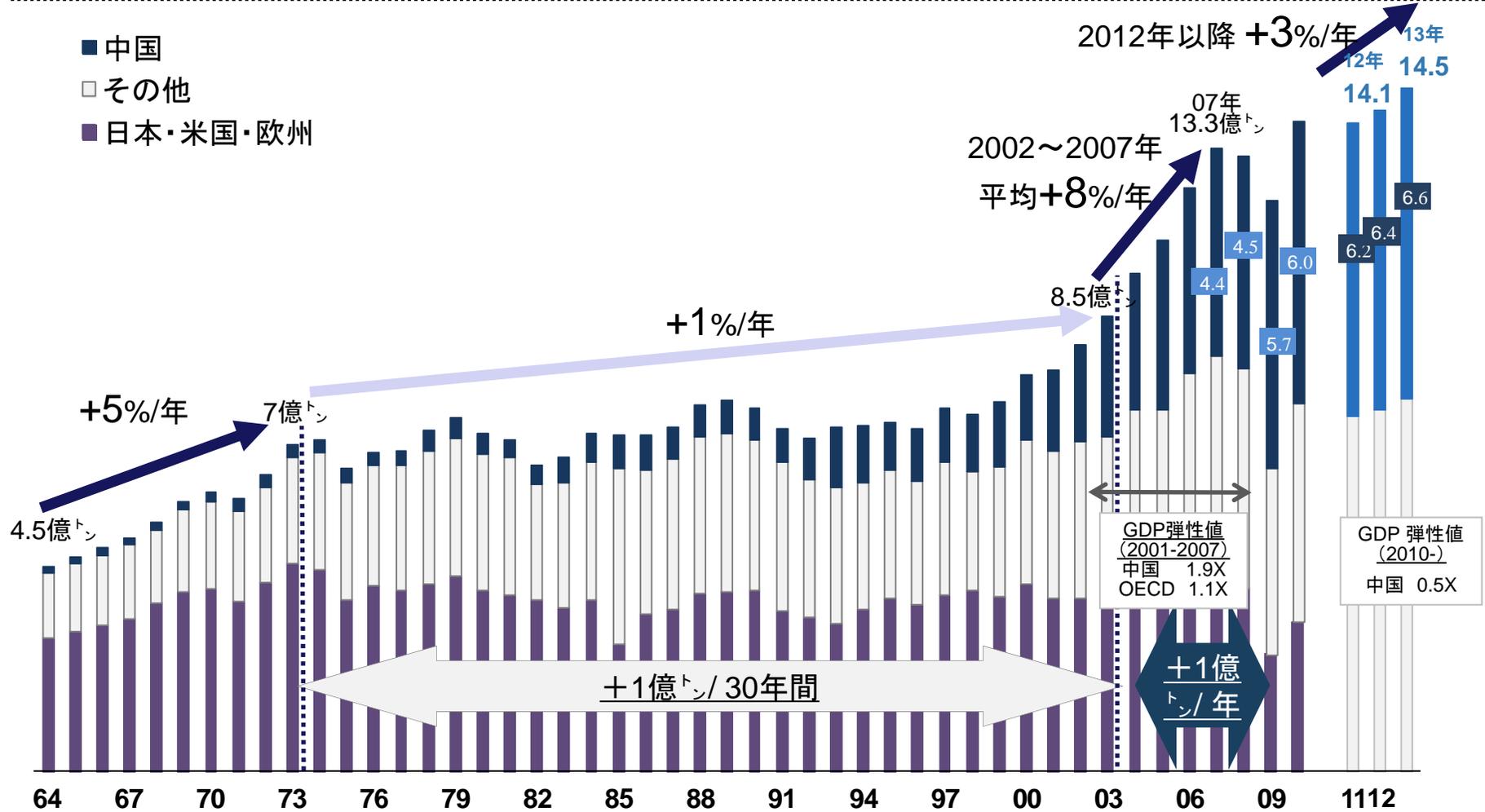
NIPPON STEEL & SUMITOMO METAL

世界の鉄鋼需要推移(粗鋼見掛消費)

(*11~13年は鋼材見掛消費(12年10月WSA発表))



- 中国
- その他
- 日本・米国・欧州



(出所: world steel association)

世界粗鋼生産量

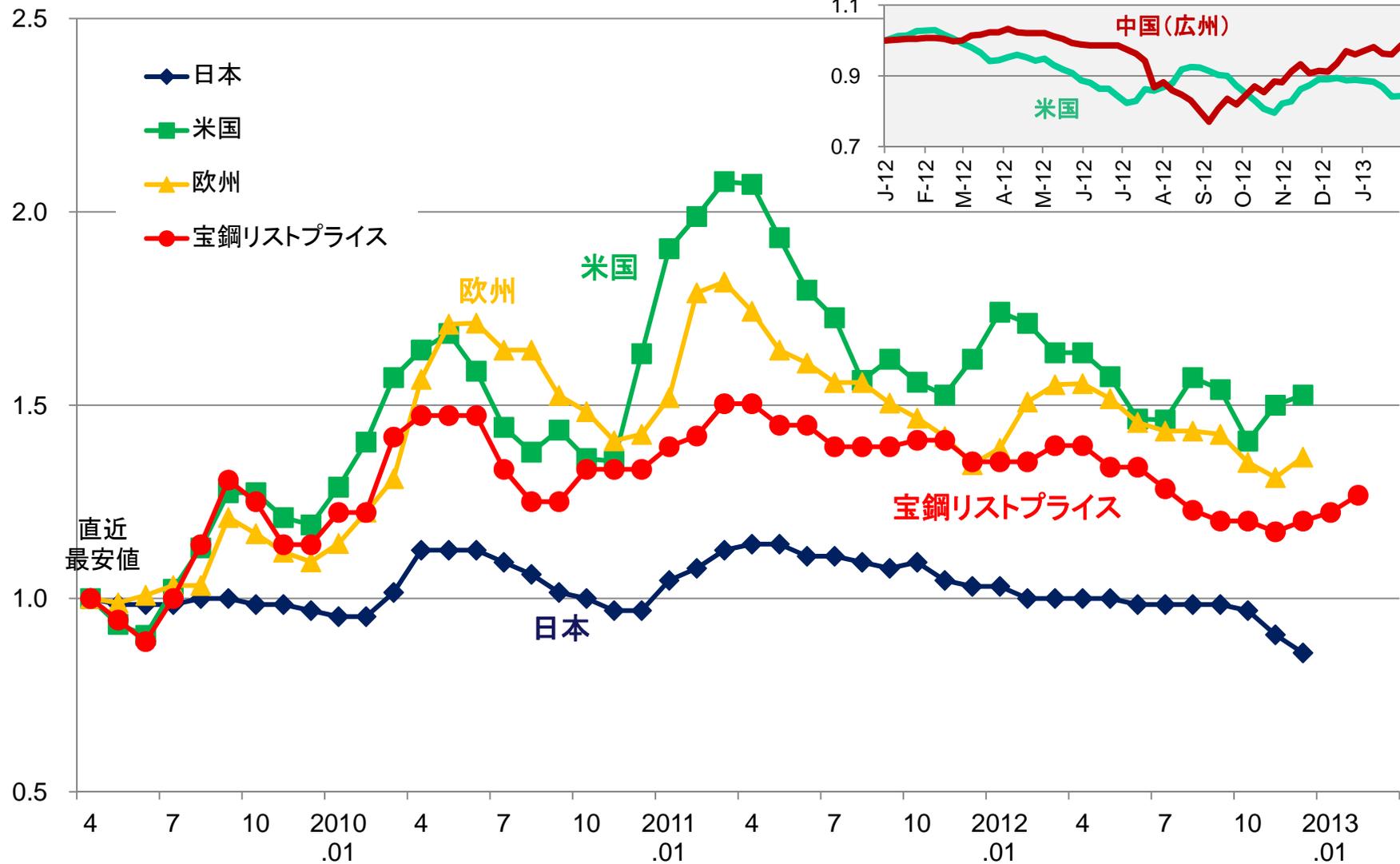
(単位: 百万t)	2011年				2012年				Y to Y		
	10	11	12	10-12	10	11	12	10-12			
世界計 ^{*1} (対前年)	124.6 +6.8%	115.8 +1.6%	118.4 +2.9%	358.8 +3.8%	1,529.2 +6.8%	126.1 +1.3%	121.7 +5.1%	121.3 +2.4%	369.1 +2.9%	1,547.8 +1.2%	+18.6
日本 (対前年)	9.5 -0.3%	8.7 -3.2%	8.4 -8.4%	26.6 -3.9%	107.6 -1.8%	8.8 -6.7%	8.5 -2.3%	8.6 +2.0%	25.9 -2.5%	107.2 -0.4%	-0.4
韓国 (対前年)	6.1 +16.7%	5.8 +11.4%	6.0 +7.4%	17.9 +11.7%	68.5 +16.3%	5.8 -4.9%	5.6 -2.7%	5.8 -3.4%	17.2 -3.7%	69.3 +1.2%	+0.8
米国	7.2	7.0	7.5	21.7	86.4	6.9	6.7	7.1	20.7	88.6	+2.2
欧州	15.2	14.3	12.3	41.7	177.7	14.2	13.5	12.0	39.7	169.4	-8.3
ロシア	5.8	5.6	6.0	17.3	68.9	6.4	5.5	5.8	17.8	70.6	+1.7
ブラジル	2.9	2.8	2.7	8.4	35.2	3.2	2.8	2.6	8.6	34.7	-0.5
インド	6.2	6.0	6.3	18.5	73.6	6.5	6.4	6.6	19.5	76.7	+3.1
中国 (対前年)	55.7 +11.8%	50.6 +1.1%	53.5 +3.3%	159.8 +5.4%	694.8 +8.8%	59.1 +6.0%	57.5 +13.7%	57.7 +7.7%	174.2 +9.0%	716.5 +3.1%	+21.7

*1 世界62カ国の合計値 (出所: World Steel Association)

© 2013 NIPPON STEEL & SUMITOMO METAL CORPORATION All Rights Reserved.

世界各国ホットコイル市況推移

(2009年4月各現地通貨ベースホットコイル価格=1.0)

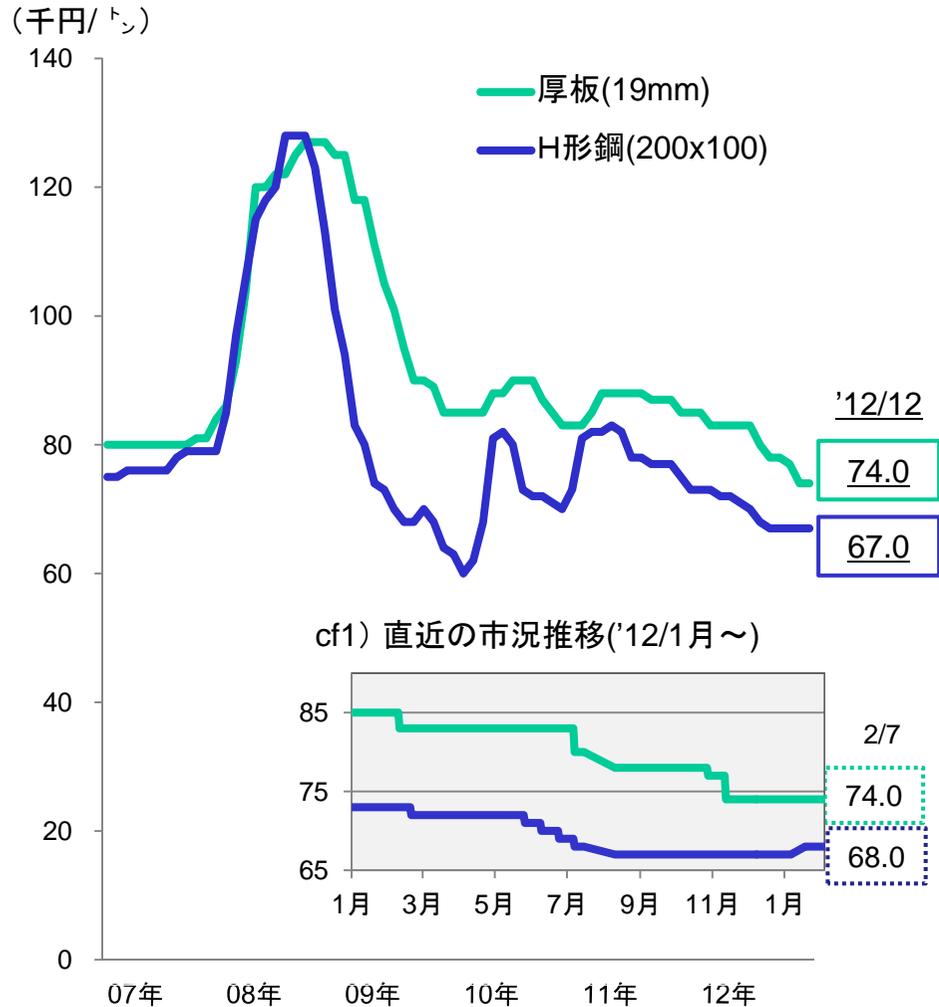


(出所: 日本鉄鋼連盟等データより当社作成)

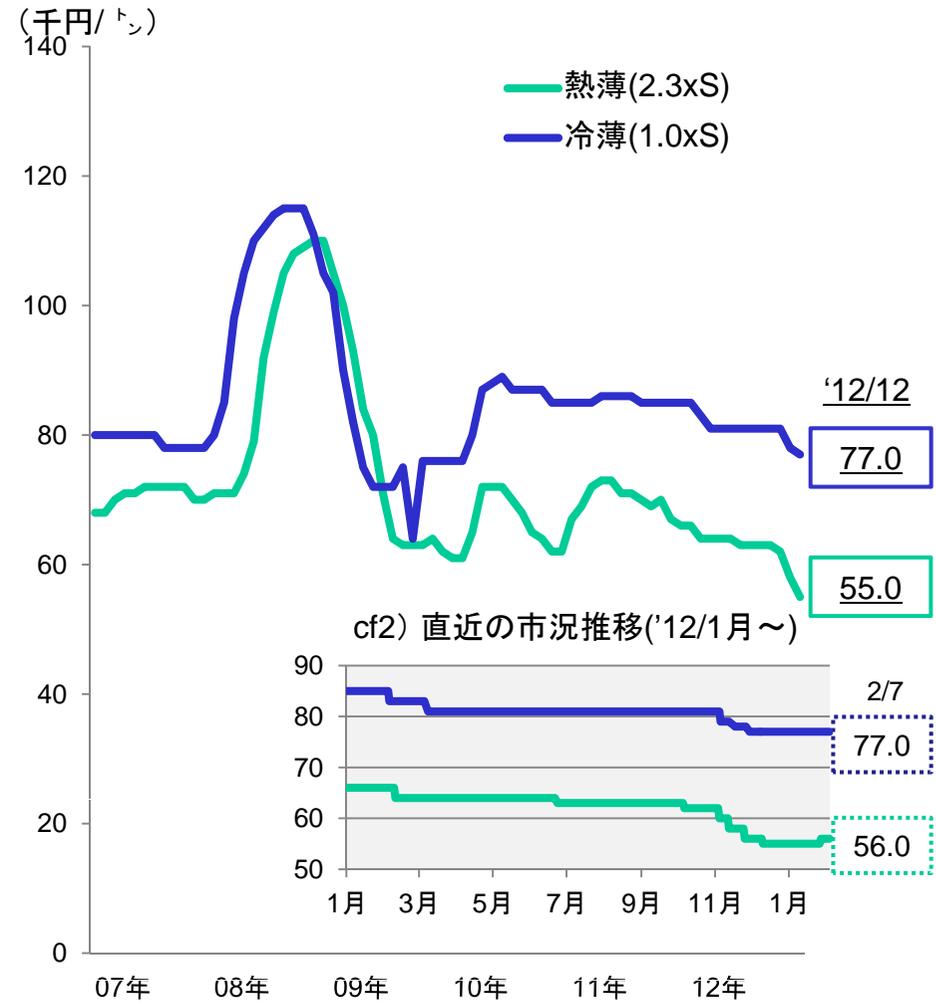
© 2013 NIPPON STEEL & SUMITOMO METAL CORPORATION All Rights Reserved.

国内鋼材市況（店頭価格）

厚板・H形鋼



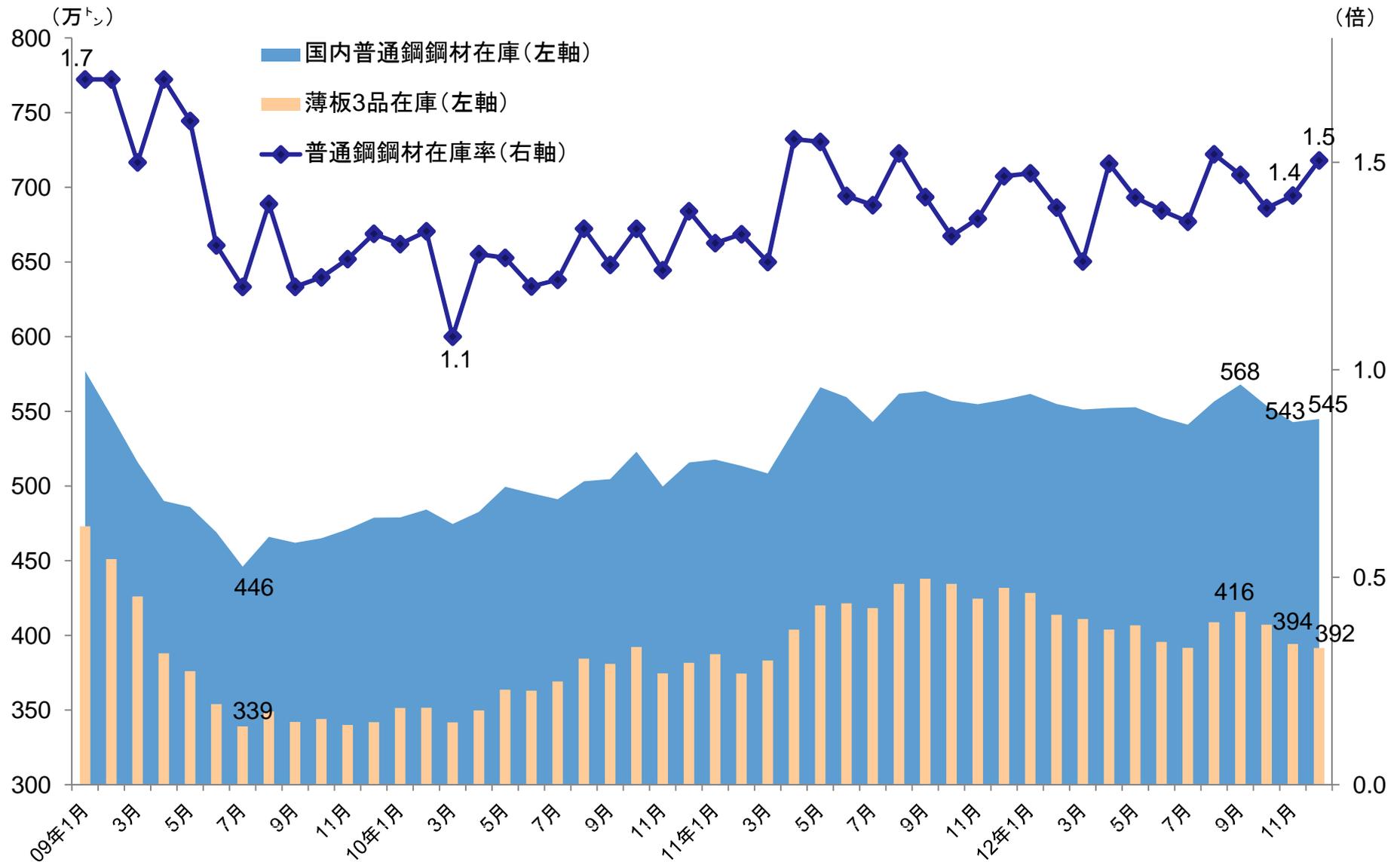
熱延・冷延



(出所: 鉄鋼新聞・月末・東京安値、問屋間仲間相場価格)

© 2013 NIPPON STEEL & SUMITOMO METAL CORPORATION All Rights Reserved.

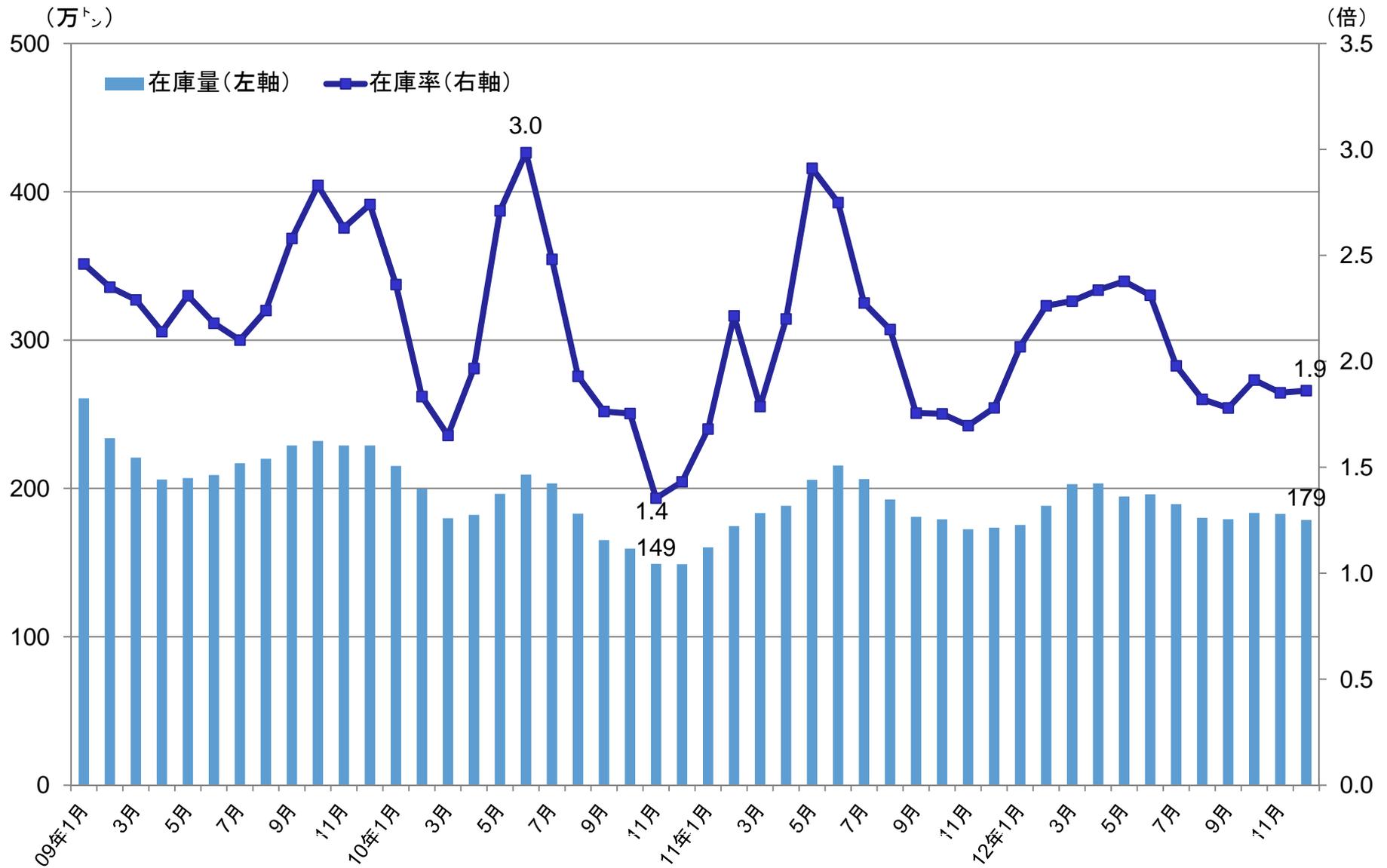
国内鋼材在庫推移 — 国内普通鋼鋼材・薄板3品在庫



(出所: 日本鉄鋼連盟)

© 2013 NIPPON STEEL & SUMITOMO METAL CORPORATION All Rights Reserved.

国内鋼材在庫推移 - ときわ会(H形鋼)在庫



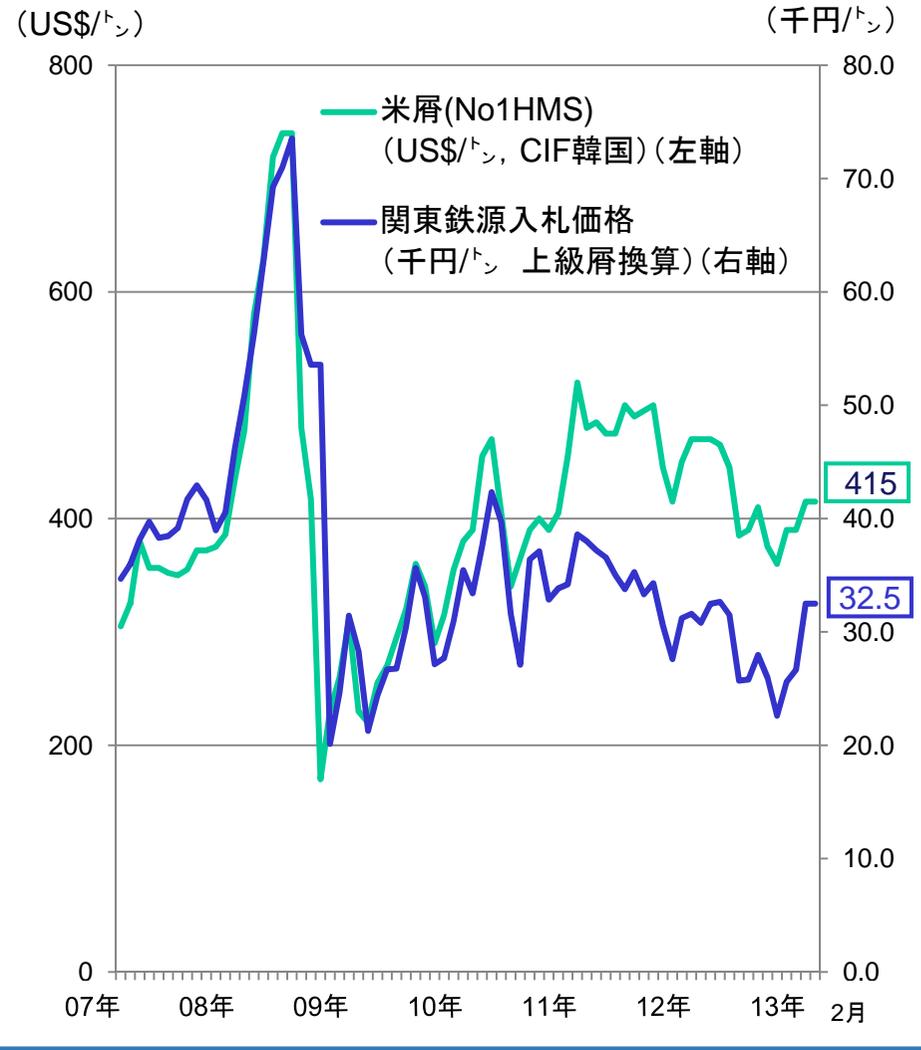
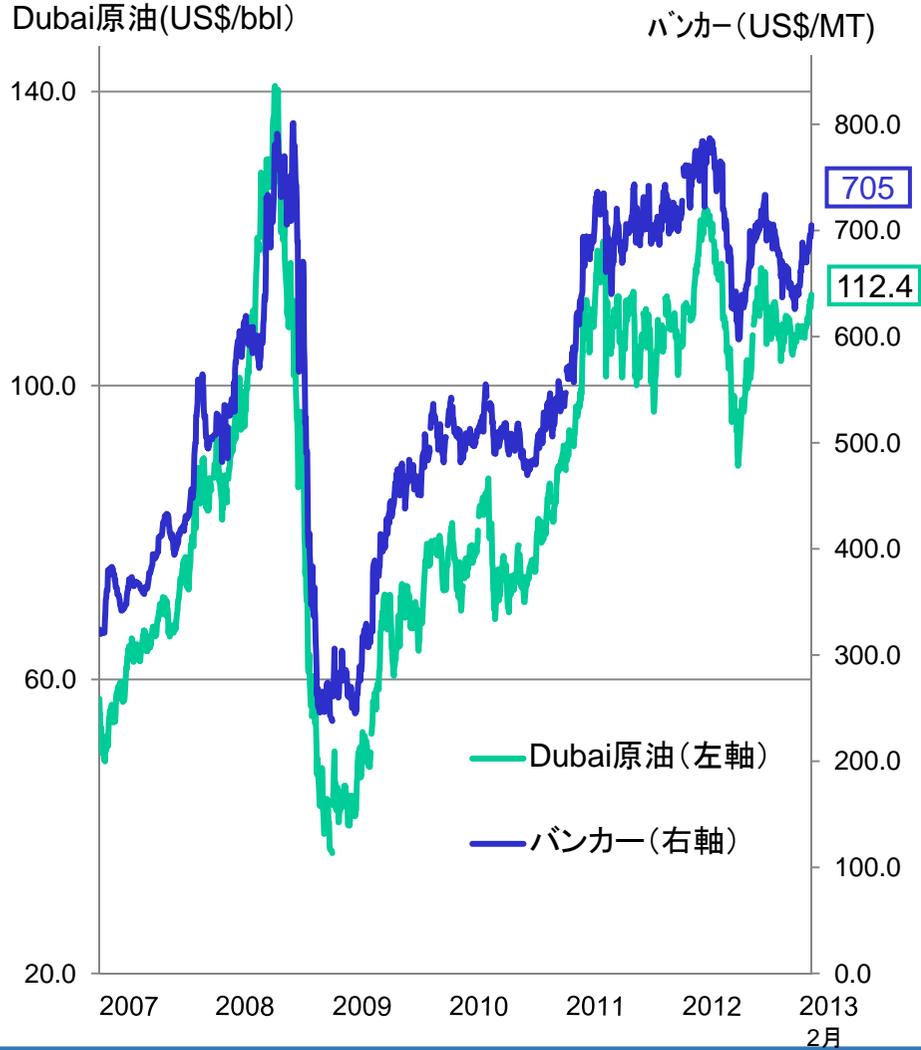
(出所: 日本鉄鋼連盟)

© 2013 NIPPON STEEL & SUMITOMO METAL CORPORATION All Rights Reserved.

原料市況 <原油・スクラップ>

原油

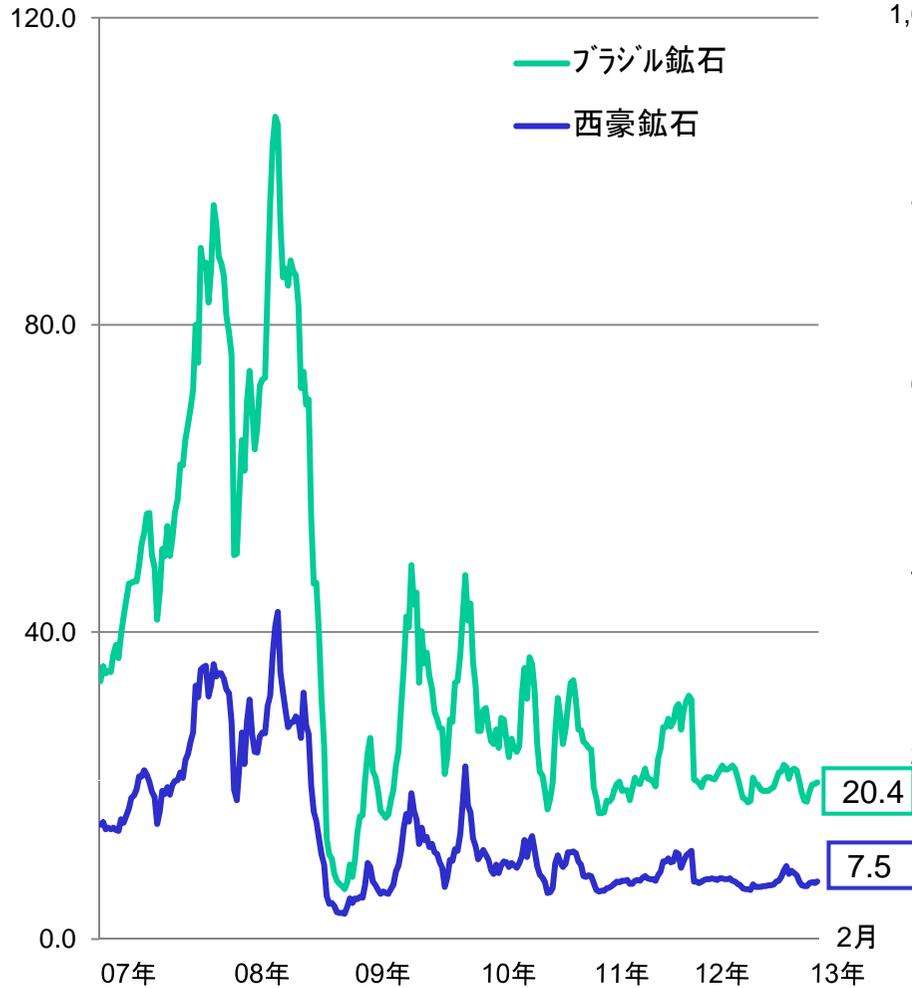
スクラップ



原料市況 <フレート・型鉄>

フレート

(US\$/WMT, ケープサイズ 170千t船型)

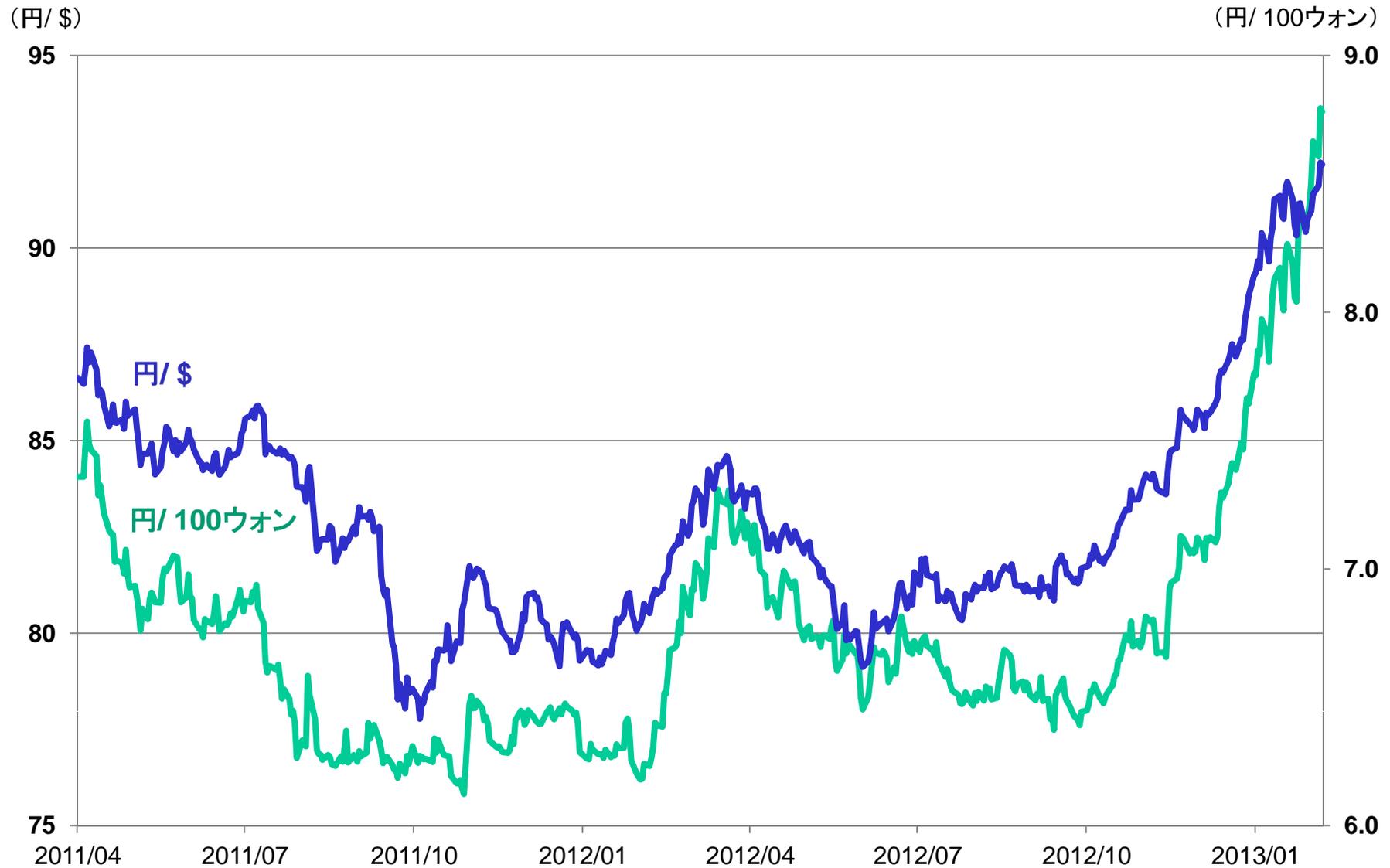


型鉄

(US\$/T, CIF 韓国)



足元の為替推移(円/ドル・円/ウォン)



本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料でなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された将来の予測等は、説明会の時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。